特集

令和５年２月17日
長　崎　税　関

長崎県からの活ブリ輸出が好調！

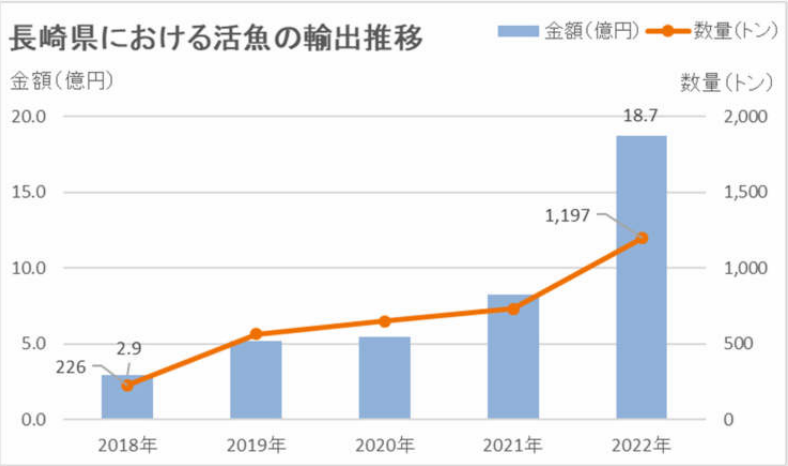
～ 2022 年の活魚輸出額は過去最高 ～

1. はじめに

長崎県は、九州の西北部に位置し、広大な大陸棚を有する東シナ海に面し、島・半島が多く、全国でも有数の水産県となっています。恵まれた環境を生かした養殖業も盛んであり、ブリ、クロマグロ、マダイなどが生産されています。

このような中、長崎県からの活魚の輸出額が過去最高となりましたので、今回、取り上げてみました。

2. 長崎県における活魚の輸出動向

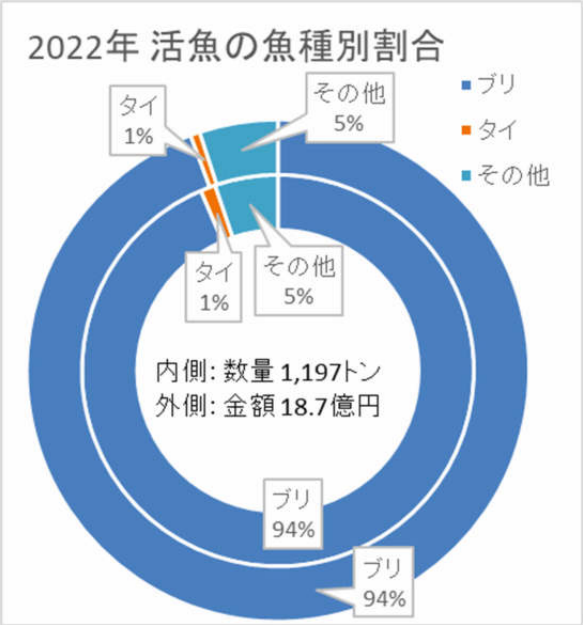


長崎県における活魚の輸出推移を過去 5 年間で見ますと、数量では、2018 年の 226 トンから 2022 年には 1,197 トンで５倍、金額では、2018 年の 2.9 億円から 2022 年には 18.7 億円の６倍と大きく伸びており、金額ベースでは過去最高となりました。

3. 2022年 活ブリの輸出額は、過去最高！

2022 年における長崎県の活魚輸出のうち、活ブリの数量は 1,120 トン、金額は 17.6 億円で、活魚に占める割合は、数量・金額ともに 94%でした。

活ブリの統計品目番号は、2022 年の品目改正において新たに設定されたものであり、2021 年以前については、活ブリ単独での輸出実績は分かりませんが、2021 年以前の金額ベースにおいて、活魚全体で最も多かったのは 2005 年の 9.6 億円であり、2022 年の活ブリの金額がこれを超えていたことから、活ブリの輸出額は過去最高だったとしております。



（注1）　本特集において、活魚とは、統計品目番号 03.01 についてまとめたものである。
（注2）　活ブリとは、統計品目番号 0301.99-200〔ぶり（セリオーラ属のもの)〕についてまとめたものであり、当該統計品目番号は 2022 年の統計品目改正により、新たに設定されたものである。そのため、2021 年以前の活ブリの実績は、0301.99-900（2002 年～2021 年)、若しくは 0301.99-000（2001 年以前）に含まれ、個別の集計はできない。
（注3）　長崎県の数値は、長崎税関本関、佐世保税関支署、長崎空港出張所及び門司税関厳原税関支署における通関数量、通関金額の合計である。
（注4）　本特集において、「過去最高」とは、比較可能な 1988 年以降の実績である。
（注5）　2022 年分は、確報値である。

4. 活ブリの輸出相手国

2022 年における長崎県からの活ブリ輸出は、数量が 1,120 トン、金額が 17.6 億円となっており、その全てが韓国に輸出されています。

また、全国においても、2022 年の活ブリの輸出相手国は、韓国のみとなっています。

ブリは、フィレなどに加工された状態で輸出されることが多いのですが、韓国では活魚を刺身で食べる習慣があり、活魚の形態による輸出が多かったのではないかと考えられます。

5. 全国との比較

2022年　活魚輸出の長崎県と全国の比較

	全国		長崎県			
	数量（トン）	金額（億円）	数量（トン）	全国シェア	金額（億円）	全国シェア
活魚	9,400	180.9	1,197	13%	18.7	10%
活ブリ	2,440	35.8	1,120	46%	17.6	49%

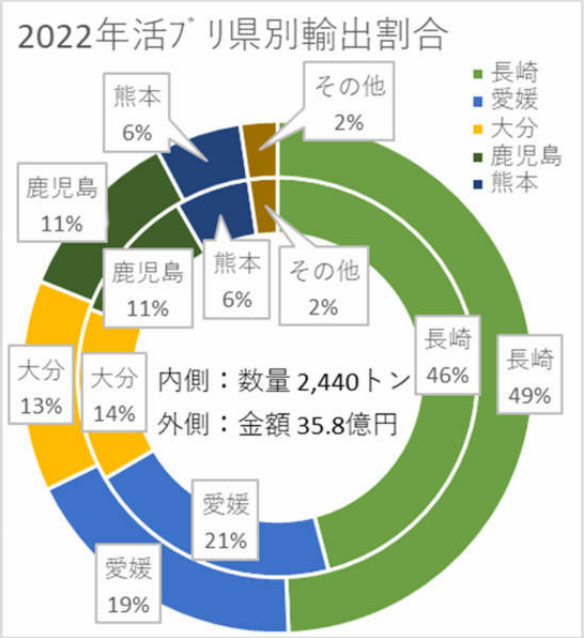
2022 年における全国の活魚全体の輸出は、数量が 9,400 トン、金額が 180.9 億円となっており、そのうち、長崎県が占める割合は、数量が 13%、金額が 10%となっています。

一方、活ブリについては、全国の数量が 2,440 トン、金額が 35.8 億円のうち、長崎県の占める割合は、数量が 46%、金額が 49%であり、その比率は大きくなっています。

6. 活ブリの県別輸出実績

2022 年における活ブリの県別輸出実績を見ますと、長崎県が、数量で 46%、金額で 49%を占め、いずれも 1 位でした。

以降の順位を見ますと、愛媛県、大分県と続いています。



7. おわりに

2022 年の長崎県における活ブリ輸出は、過去最高となりましたが、業界の方に話をお聞きしますと、需要もあり、特段の変化がなければ、今後も高い水準で推移していくのではないかということです。

長崎県では、「ながさき BLUE エコノミー」という、SDGｓに基づく取り組みを産学官が一体となって実施していこうとしており、今後、養殖ブリの輸出が益々増えることが期待されます。

（資料）農林水産省資料、各種報道等による

～～～ 本資料についてのお問い合わせ ～～～

長崎税関 調査部 調査統計課　☎095-828-8659（直通）
〒850-0862 長崎市出島町 1 番 36 号
長崎税関ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.customs.go.jp/nagasaki/

※本資料を他に転載するときには、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

（付表）

表1.長崎県における活魚輸出の推移

※2022年は確報値、その他は確定値

年	活魚		活ブリ		活タイ		活魚その他*1	
	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)	数量(KG)	金額(千円)
1988年	76,718	140,178					76,718	140,178
1989年	100,560	138,534					100,560	138,534
1990年	314,394	459,471					314,394	459,471
1991年	620,892	777,188					620,892	777,188
1992年	680,448	707,830					680,448	707,830
1993年	394,741	356,939					394,741	356,939
1994年	594,150	510,826					594,150	510,826
1995年	298,050	290,055					298,050	290,055
1996年	642,950	515,165					642,950	515,165
1997年	706,049	587,086					706,049	587,086
1998年	237,503	140,077					237,503	140,077
1999年	771,331	464,629					771,331	464,629
2000年	1,441,371	903,044					1,441,371	903,044
2001年	998,804	655,243					998,804	655,243
2002年	821,502	586,685			565,300	387,508	256,202	199,177
2003年	707,145	472,025			355,522	226,413	351,623	245,612
2004年	1,382,662	894,273			1,017,530	629,210	365,132	265,063
2005年	1,477,239	964,555			1,217,698	773,027	259,541	191,528
2006年	1,291,738	907,098			1,038,972	725,556	252,766	181,542
2007年	658,017	524,744			381,677	305,278	276,340	219,466
2008年	381,044	268,320			220,200	123,795	160,844	144,525
2009年	721,365	411,469			581,448	290,224	139,917	121,245
2010年	447,324	333,371			310,500	216,389	136,824	116,982
2011年	310,278	244,264			162,650	128,727	147,628	115,537
2012年	282,454	237,509			152,400	130,001	130,054	107,508
2013年	148,561	135,864			49,230	43,957	99,331	91,907
2014年	186,880	143,917			120,455	82,570	66,425	61,347
2015年	485,587	397,236			357,288	280,252	128,299	116,984
2016年	402,113	372,663			201,880	172,895	200,233	199,768
2017年	239,170	284,454			129,700	120,731	109,470	163,723
2018年	225,780	289,208			51,470	47,693	174,310	241,515
2019年	564,500	518,015			−	−	564,500	518,015
2020年	649,165	544,547			−	−	649,165	544,547
2021年	729,600	825,813			6,000	4,380	723,600	821,433
2022年	1,196,550	1,869,986	1,119,500	1,764,168	14,800	11,382	62,250	94,436

*1「活魚その他」は、活魚(03.01項)から、活ブリ(0301.99-200)及び活タイ(0301.99-100)を差し引いた残額。
統計品目番号の設定年：活ブリ(2022年～)、活タイ(2002年～)

表2.活ブリの県別輸出実績(2022年)

都道府県	数量(KG)	構成比	金額(千円)	構成比
長崎	1,119,500	45.9%	1,764,168	49.3%
愛媛	504,500	20.7%	661,438	18.5%
大分	341,500	14.0%	477,065	13.3%
鹿児島	269,500	11.0%	397,175	11.1%
熊本	148,000	6.1%	194,450	5.4%
その他	56,700	2.3%	83,410	2.3%
全国	2,439,700	100.0%	3,577,706	100.0%